

令和 5 年度第 1 回石狩市自転車活用推進協議会 議事録

日 時 令和 5 年 3 月 28 日（木）11 時 00 分～12 時 00 分

場 所 石狩市役所 2 階 201 会議室

出席者 石田真二会長、小島郁也副会長、熊谷吉伸委員、平井克典委員、菅田昇幸委員、
本田卓己委員、大川実委員

事務局 企画課交通担当課長 上窪健一、企画課交通担当主査 江島紀和
株式会社ドーコン 小林岳

傍聴者 なし

次 第

1. 開 会

2. 議 題

（1） 今年度の取組について（報告）

（2） 令和 6 年度取組予定について

（3） 取組内容の実施状況と今後の予定について

3. 閉会

＝＝＝＝＝＝＝＝＝審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等）＝＝＝＝＝＝＝＝＝

※ 以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会

2. 議題

（1）今年度の取組について（※事務局より説明）

【質疑・意見】

○標識の件について令和 2 年度に施行されていたと思うが、数年経っている状況で風雪に晒され、案内看板の劣化状況等のチェックはされているのか。実際に設置した看板等を使って走ったユーザーの方々から生の声を聴く機会はあったのか。

●チェック体制については、職員が車に乗ってチェックしている。その中で、路面標示が剥けている等問題があった場合は、修繕する方向であるが、今のところそういった状況のものはないという認識。

視認性の問題についても、工夫しており、本来このくらいの高さという基準があるが、石狩市は雪深いということも考え、雪に埋もれてしまわないように基準より数十センチ程高く設置する工夫をしているところ。

また、本市は先行的な設置事例ということもあり、資料 2 の右下のように複数のルートが入っているようなものについても、あまり縦に並んでしまうと目が泳いでし

まうということで視認性の工夫としてはその辺りを行ってる。

実際のサイクリストの生の声という観点では、ガイドツアーで石狩市を走っているサイクルガイドより、非常にサイクリスト好評であると伺っているところ。

○実際に利用した声は逐次拾い上げるシステムを作っておいた方が良く、引き続きやっていただきたい。

交通安全教室等、石狩市としてもこの計画の中で誰か一人に頼ってしまうと、その方が体調を崩した時にできないというようなことが起きてしまう。今はこういう形でやらざるを得ない状況かもしれないが、これについては組織的に管理・サポートできるような体制を構築すべきだと思う。

●今後の人材という観点から、これまで実施してきたサイクリングガイドセミナー事業の中から人材育成が進み、今後は石狩市のそういった事業にご協力いただけるような方が育っていただけないかなという期待も込めながら事業展開しているところ。

（2）令和 6 年度取組予定について（※事務局より説明）

【質疑・意見】

○自転車に乗っている方の SNS を見てみると、石狩市のホームページに入ってくる人はあまりいないと思う。警察も同じで情報発信をしても警察のホームページを見に行く人はかなり限られており、例えば報道機関を活用で、去年は北警察署もよく活用した。記者の中には若い人もおり、話題を探している。こちらで啓発ができるということで、例えば警察含め交通安全や自転車の乗り方、コースの案内もできるのではないかな。警察署でも広報・啓発で、配った直後に電話が警察署に来るなど非常に効果がある。素晴らしいコースがあるので考えてみてはどうか。

●おっしゃる通り、素晴らしいコースがあったとしても知っていただかないことには、走っていただけない。報道機関やテレビ、インターネットなどの方向を念頭に検討していきたい。

○サイクリストに素晴らしいサイクルコースを紹介する、楽しんでいただくということはもちろんだが、非常に重要なのは安全管理。浜益の方はトンネルが多く幅員も狭くなっており、トンネルの出入口には、サイクリストがいるという注意喚起、トンネルの出入口で光る腕章か何かを自由にとって付けて走っていただくよう推進をしている。サイクリストに対しては素晴らしいサイクルコースを紹介する広報や啓発も必要だが、一般ドライバー、特に夏場はバイクも含めて非常に交通量が多くなる状況にある。以前、留萌に行った時に調査したが、皆さんほとんど方向が決まっており、

宗谷岬を目指して 231 号、232 号を北上していく方向が圧倒的に多いという傾向にあった。一般ドライバー、なおかつトラックドライバーへ協会の方に交通安全の啓発をすることは、楽しんでもらう以前に安全にという部分で大事なところだと思う。

●トンネル内の走行が非常に危険を伴うということは認識している自転車のアドバイザー会議の中でもそれを指摘されており、トンネルの入口で自動車側に対し自転車が居るという啓発はしていたが、ドライバーが気付かないため、更なる大きな看板が必要ではないかという声が挙がっていると認識しているところ。

また、警察とタグを組んでというのは、先程の報道の観点と同じで、より大きな PR になるということは承知しており、検討を進めてまいりたい。

（3） 取組内容の実施状況と今後の予定について（※事務局より説明）

<資料 3>

【質疑・意見】

○自転車活用推進計画本体の項目が大項目・中項目・小項目でそれぞれの実施スケジュールで順調に進んでいるが、具体的に小項目を改定・改正などの見直し作業はこれから発生する予定はあるか。

●現状の内容の流れにて進めたいと考えているが、昨今の状況の変動に合わせて変えていければと考えているところ。

3. 閉会

令和 6 年 4 月 21 日 議事録確定

石狩市自転車活用推進協議会

会 長 石 田 英 二